

令和3年度事業報告書



経営理令

みんなの参加と協働で、「しふく(至福)のふくし(福祉)」を実現します。

一人ひとりの思いを大切にした、寄り添えるサービスを届けます。

みんながずっとこの町で暮らしていけるよう、お手伝いできる社協をめざします。

みんなの未来のために、いつも前向きに歩む社協であり続けます。



社会福祉 **小山町社会福祉協議会**

◆◆◆◆ 小山町社会福祉協議会は共同募金の助成団体です ◆◆◆◆



このマークが表記されている事業は、共同募金の助成を受けています

事業実施状況報告

1	福祉のひとづくりの推進	
	(1) 広報啓発活動の推進(2) 福祉教育(共育)活動の推進(3) ボランティアの輪を広げる活動の推進(4) 住民参加の活動を支える	1 2 2 4
2	共生の地域づくりの推進	
	(1) 相談支援体制の推進 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6 9 12 13
3	福祉の基盤づくりの推進	
	(1) 高齢者等への支援活動の推進(2) サービスの提供力を高める(3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決の推進(4) 社会福祉法人としての「地域のおける公益的な取組」の推進(5) 法人組織の基盤を強める(6) 安定した自主財源の確保	16 17 18 19 21 29
4	指定介護保険事業の経営	
5	(1) 居宅介護支援事業所の経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30 31
J	(1) 居宅介護事業の経営 (2) 就労継続支援B型事業の経営	33 33
6	その他	
	(1) 行政関係機関による監査及び実地指導の受検(2) 各種表彰候補者推薦事務の実施(3) 各種研修会講師等としての役職員派遣の実施(4) 関係機関・団体の委員等就任による提言活動の推進	36 36 37 37

事業報告の付属明細書

令和3年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の 内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。

1 福祉のひとづくりの推進

(1) 広報啓発活動の推進

ア 地域福祉活動情報紙「つながり」の発行



町民等に対し地域福祉に対する理解や関心をより深めてもらえるよう、本会事業の紹介、 地域で展開されているさまざまな地域福祉活動等についての情報提供を行った。

「配布方法」全戸配布(協力;小山町区長会)

_				
	号数	期日	発行部数	
	第29号	令和3年6月15日		
	第30号	令和3年9月15日	7	
	第31号	令和4年12月15日	各6,750部	
	第32号	令和4年3月15日		



イ 本会ホームページの管理運営及びSNSの活用による情報公開の促進

本会のホームページを管理運営し、定期的に情報を更新、地域福祉活動活動情報紙「つな がり」と同様に本会活動を紹介、行事の案内、各種情報等を広く公開した。

ウ 年度版法人案内パンフレットの発行



経営理念、事業体制及び事業内容、組織及び組織運営等をまとめたパンフレットをを発行 し、主催事業の開催の機会を捉えて配布することにより本会に対する理解促進を図った。

[発行期日] 令和3年4月26日

[発行部数] 700部

エ 2021小山町ふれあい広場の開催



地域福祉活動の必要性や現状の理解促進、ボランティア活動等についての意識高揚を図る ための啓発活動として実施した。

[開催期間] 令和3年12月2日(木)~11日(土) ※10日間

[開催会場] 小山町総合文化会館 ホワイエ周辺

[開催形態] パネル展示のみ(参加団体の活動紹介等)

[参加団体·施設数] 16団体·施設

[来場者数] 延1,800名

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して開催

[実行委員会の開催]

回	期日	会場	
第1回	令和3年7月28日(水)	(書面開催)	
第2回	令和3年10月11日(月)	小山町健康福祉会館	
第3回	令和4年2月18日(金)	小山町健康福祉会館	

オ 小山町社会福祉大会及び福祉講演会の開催 (1-1)



多年にわたり地域福祉活動の発展に功労のあった方々を表彰し、なお一層の活躍を期待す るとともに、住民主体による助けあい活動など、わが町における地域福祉のさらなる充実を めざす機会として開催した。

日] 令和3年12月11日(土) 「期

場] 小山町総合文化会館・金太郎ホール

容] 第1部 表彰式典

第2部 記念講演(フリーアナウンサー 寺田理恵子氏)

[来場者数] 250名

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して開催

(2) 福祉教育(共育)活動の推進

ア 福祉系大学や専門学校学生等実習生の受け入れ

受入実績なし(当該地域に希望学生がいないため)

イ 中学生職場体験学習の受け入れ

<u>新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止</u>(小山町教育委員会からの申し入れによる)

ウ 学校やPTA及び地域団体等主体の体験学習、地域交流に関する活動支援

支援実績なし(希望団体等がなかったため)

(3) ボランティアの輪を広げる活動の推進

ア ボランティアセンターの運営



ボランティア活動が地域社会に定着するために、一部の限られた人たちだけが活動を行うの ではなく、地域のさまざまな人たちが、気軽に、楽しく、日常的に活動に参加できるよう支援に 努めた。

(1) ボランティア活動や住民活動に関する情報提供及び相談・連絡調整

(2) ボランティアの登録やニーズの受付

事業内容

(3) ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の加入促進

(4) 民間福祉財団等による助成事業の案内・推薦

(5) 生活支援コーディネーターとの連携による人材発掘及び組織化支援

イ 第40回サマーショートボランティア活動計画の実施(静岡県ボランティア協会との共催)

夏休みを利用したボランティア活動体験プログラムであり、受入施設は高齢者施設、障が い者施設、児童施設などの福祉施設や社会教育施設である。施設での活動を通じて、参加 者が施設利用者や職員のこと、ボランティアや福祉について理解を深める機会となってい る。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、受入先での活動に参加できなかった人 に対し、代替活動(ビニールエプロンづくり)が行われた。

[実施結果(小山町内の受入先のみ抜粋)]

活動期間 令和3年8月1日(日)~8月31日(火)	
受入施設数 5か所(うち 4か所が受入中止)	
参加申込者数	25名
参加者数	23名

ウ 大規模災害に備えた災害ボランティアのネットワークの構築



予想される東海地震や神奈川県西部地震や局地的な風水雪害などの自然災害に備え、被 災地域の復旧・復興に不可欠な「災害ボランティアセンター」を中心としたボランティア活動 が効果的かつ円滑に行われるよう、平常時から町行政を含めた県内外の関係機関や団体 との連携を強化し、災害ボランティアにかかる機能的な体制づくりのための取り組みを行 った。

取組内容	(1) 災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の実施や必要資機材の整備 (2) 災害ボランティア関連研修事業の開催 (3) 平常時における関係機関との連携強化 (4) 災害ボランティア活動に関する意識高揚を目的とした啓発活動の実施
	(5) 県内外の機関や団体と連携した訓練への関係者の参加等 (6)本会のBCP策定に伴う災害ボランティアセンター運営マニュアル見直し

ア) 災害ボランティアセンター支援の連携協定の締結

自然災害発生時において本会が運営する災害ボランティアセンターの運営に対し、そ の支援内容や連携に係る協定を締結した。

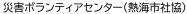
団体名	締結年月日
小山ライオンズクラブ	令和3年6月1日(火)

イ) 県内外で発生した大規模災害に係る支援活動の実施

静岡県内外で発生した大規模災害に係る支援のため、職員派遣等を行った。

令和3年7月大雨災害に係る災害ボランティアセンター運営支援活動					
	派遣先	派遣先 熱海市(熱海市社会福祉協議会)			
	① 令和3年7月5日(月)~8日(木) ② 令和3年7月20日(火)~21日(水) ③ 令和3年8月25日(水)~27日(金) ④ 令和3年9月12日(日)~14日(火)		計12日間		
	派遣職員	松田直樹(統括地域福祉プロデューサー)			
	令和3年7月大雨災害に係る静岡DWAT(静岡県災害派遣福祉チーム)としての避難所 における支援活動				
	派遣先 熱海市(熱海 金城館)				
	派遣期間・日数 令和3年8月25日(水)~28日(土) 計4日間		計4日間		
	派遣職員 江藤瑞穂(居宅介護支援事業所 副管理者・介護支援専門員)				







避難所(熱海 金城館)

エ 災害対応研修会の開催



多様化する大規模災害の場面において、社会福祉協議会やボランティア団体等が被 災者支援の一翼を担っているが、市町災害ボランティアセンターで抱える課題、避難 所運営、外部団体の支援のあり方を含め、町民や関係機関・団体、福祉施設・事業所等 とともに、平時における連携強化を図ることを目的に開催した。



オンライン参加の様子

期日	令和4年1月29日(土)
会場	オンライン開催(Zoom)
内容	「災害時の支援活動について」 ~今年度の静岡県内の災害支援活動の事例 他~
講師・話題提供者	李 仁鉄氏(にいがた災害ボランティアネットワーク理事長) 松山文紀氏(災害対応NPO MFP) 加藤慎也氏(富士市社会福祉協議会) 薮田栄和氏(西伊豆町社会福祉協議会) 玉木優悟氏(下田市観光協会)
参加人数	24名(市町社協14名、NPO・ボランティア7名、行政1名、その他2)

(4) 住民参加の活動を支える

ア 福祉関係団体の運営支援

福祉関係団体の活動基盤強化のため、必要な事務受託を行うとともに、その自主性を尊重し、自立へ向けての支援を行った。(書面による委託契約の締結あり)

[団体別事務受託状況]

No.	団体名	経理事務		代表者印管理		預金通帳管理	
INO.	凹冲石	団体	本会	団体	本会	団体	本会
1	小山町共同募金委員会		0		0		0
2	小山町シニアクラブ連合会		0		0		0
3	小山町手をつなぐ育成会	0		0		0	
4	小山町赤十字奉仕団	0			0	0	
5	小山町母子寡婦福祉会	0			0	0	
6	小山町身体障害者福祉会	0			0	0	
7	小山町遺族会	0			0	0	
8	小山町忠霊奉賛会		0		0		0

イ 地域福祉活動事業費助成事業の実施

赤い羽根共同募金の配分金を財源とし、自主的に地域福祉活動を実践しようとする団体 やグループ及び小規模施設からの申請に基づき事業費助成を行った。

助成団体数	7団体
助成決定額	450,000円

ウ 小山町民生委員児童委員協議会との連携による地域福祉活動の推進

民生委員児童委員協議会との連携協働による地域福祉活動の推進を図った。

- ア) 定例会への出席
 - 民児協関連の社協事業にかかる各種報告等(原則として毎月第4水曜日)
- イ) 共同募金運動の連携・協力依頼
 - ・赤い羽根募金協力企業等訪問活動の連携協力
 - ・歳末たすけあい世帯激励金配分にかかる連携
- ウ) 福祉総合相談事業の連携
 - 心配ごと相談員への就任及び相談対応
- 工) 地区会や部会との連携 各種研修や事業についての相談対応・連携強化
- エ 小山町区長会との連携による地域福祉活動の推進

区長会との連携協働による地域福祉活動の推進を図った。

- ア) 区長会への出席
 - 会員増強運動や共同募金運動への協力依頼
- イ)会員世帯等に対する広報紙の配布 各区を通じた配布依頼
- ウ) 施設提供等協力依頼
 - ふれあい茶論等の実施に伴う施設提供依頼
- エ)その他 区長会に対する年間協力費の支払い

オ 共同募金運動との連携

静岡県共同募金会及び小山町共同募金委員会と協働し、共同募金運動の促進を図るとともに、助成金の有効活用に努めた。

[募金運動期間]・赤い羽根募金 10月1日~12月31日・歳末たすけあい募金 12月1日~31日

カ 歳末たすけあい募金配分事業の実施

新たな年を迎える年末の時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう支援するため、激励金の贈呈を行った。当該世帯への見舞金の贈呈にあたっては、対象世帯から申請方式とし、生活状況を十分把握したうえで、本人の意思を確認しながら、民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施した。福祉関係当事者団体や小規模施設等が実施する事業に対し事業費の助成を行った。

なお、激励金品の支給や事業費助成について、適正かつ効果的な配分を行うため、歳末た すけあい事業配分委員会を設置した。

ア) 歳末たすけあい事業配分委員会の開催

[期 日] 令和3年12月8日(水)

[会場]小山町健康福祉会館

[出席者] 委員7名(本会1名·民生委員児童委員5名·職員1名)

イ) 世帯激励金等申請受理件数

33世帯54名

ウ) 世帯激励金の配分実績

配分金額	計596,000円(配分事務経費を除く)		
配分世帯数	世帯数 32世帯(世帯人数52名)		
	ひとり暮らし高齢者世帯	17世帯·17名	
₩₩₩₩₩₩	ひとり親世帯	7世帯·20名	
世帯種別内訳 	障害者·児世帯	5世帯・7名	
	その他の生活困窮世帯	3世帯・8名	

※ 配分世帯担当民生委員児童委員数;17名

工) 地域福祉活動事業費助成実績

No.	団体名等	件数·人数
1	小山町母子寡婦福祉会	1件
2	小山町手をつなぐ育成会	1件
3	特定非営利活動法人おでかけクラブ	2件·21名
4	ふれあい茶論運営団体	13件·357名
5	放課後児童クラブ	5件·214名
6	ワーカーズコープ	1件·38名
計	21団体	330,500円(配分事務経費を除く)

キ おやま健康マイレージ事業への協賛

- [内 容]ア)健康増進支援事業所登録(同事業のPR、カード配布、ポイント押印等)
 - イ)ハッピーチケット活用事業(カフェ・ポム及びカフェ・アップルの飲食500 円分)
 - ウ) スマイル賞協賛(町民食堂ごちそうさん 回数券2,200円分×4セット)

2 共生の地域づくりの推進

(1) 相談支援体制の推進

ア福祉総合相談所の運営

町民が抱える生活課題の解決に向けて、各種相談体制を整備するとともに、関係相談機 関と連携し対応した。

[開設日数] 延112日(前年度比 4日増) [相談受理件数] 延49件(前年度比 13件減)

	開影	と 日	毎週火	曜日		
(1) A =#+D=/k	相談	. 員	介護支	援専門員		
(1) 介護相談 	開設	日 数	48日			
	相談受	理件数	14件			
	開設	と 日	指定の	水曜日(毎月1回)		
 (2) 法律相談	相影	〔 員	弁護士			
(2) 法律怕敌	開設	日 数	12日			
	相談受	理件数	31件			
	開影	1 日	毎週木	曜日		
(3) 心配ごと相談	相 診	員		員児童委員·主任児童委員 護委員		
	開設	日 数	47日			
	相談受	理件数	4件			
		期	日	令和3年7月29日(木)		
	第1回	会	場	須走地区コミュニティセンター		
		相談受理件数		0件		
		期	日	令和3年9月30日(木)		
	第2回	会	場	小山町総合文化会館		
		相談受	理件数	0件		
		期	日	令和3年11月25日(木)		
(4) 出張	第3回	会	場	須走地区コミュニティセンター		
心配ごと相談		相談受	理件数	0件		
		期	日	令和4年1月27日(木)		
	第4回	会	場	北郷地区コミュニティセンター		
		相談受	理件数	0件		
		期	日	令和4年3月24日(木)		
	第5回	会	場	須走地区コミュニティセンター		
		相談受	理件数	0件		
	相	談	員	権利擁護支援センター職員		

イ 包括的支援体制構築事業の実施【小山町受託事業】

福祉的ニーズの多様化・複雑化を踏まえ、単独の相談機関では十分に対応できない、いわゆる「制度の狭間」の課題の解決を図る観点から、複合的な課題を抱える住民等に対する包括的な支援システムを構築するとともに、高齢者などのボランティア等と協働し、地域に必要とされる社会資源を創出するために、関係機関等との連携による取組を実施した。

[取組内容]

- ・相談支援包括化推進員の配置
- ・相談者が複数の相談機関に出向くことなく、複合的な悩みを総合的かつ円滑に相談できる体制整備の実現
- ・多機関及び多職種の連携強化(含 地域包括支援ネットワーク会議への出席等)
- ・地域に不足する社会資源の創出 他

「取組実績」

地:	地域生活課題に関する相談件数等(含 相談に対する情報収集)										
[実 件 数	128件(前年度)	128件(前年度比 15件増)								
	来談者数	117名(前年度)	七 2	20名減)							
		生活困窮 61		虐待	6	医療	29				
	相談種別	介護 26	١	育成	4	障がい	24				
	怕談性別	ひきこもり 5		地域生活	10	成年後見	33				
		就労 28		その他	22						
来	談者等に対す	る支援件数及び内	容								
	実 件 数	117件(前年度)	七 1	件減)							
	改善件数	88件(前年度比	:28	件増)							
		相談のみ		22	介護保険	事業部門対応	8				
		生活支援相談C対	応	36	地域包括	支援Cとの連携	7				
	主たる	生活福祉資金対応	ፘ	14	相談継続		6				
	支援内容	権利擁護支援C対	応	17	町健康増進課との連携		5				
		ネットワーク会議		連携 6	日常生活自立支援事業対		応 5				
		生活保護担当課との連携 6			その他		14				
ネ	ネットワーク会議・個別ケース会議開催件数										
	ネットワーク会議調整件数 12件(前年度比 1件増)										
	個別ケース	ス会議開催件数	23	3件(前年原	度比 22件	個別ケース会議開催件数 23件(前年度比 22件増)					

ウ 生活支援体制整備事業の実施【小山町受託事業】

地域における高齢者の生活支援・介護予防の体制整備を推進していくために、体制整 備に向けた調整役として「生活支援コーディネーター」を配置し、町や地域包括支援セン ター「平成の杜」等との連携により事業を実施した。

[受託業務の内容]

- ・地域の高齢者ニーズや、地域に不足している介護予防や生活支援のサービスの把握
- ・サービスの開発に向け、地域の関係団体等への働きかけ
- ・地域の関係団体間の情報共有や連携体制の整備
- ・サービスの担い手の発掘や要請、地域のニーズと不足するサービスのマッチング

[取組実績]

イス小山ノ	ハロン(突)						
生活	生活支援コーディネーターの配置						
	配置人数	3名(常勤·兼務) ※ 令和3年4	3名(常勤・兼務) ※ 令和3年4~6月までは4名				
生活							
	第1回	令和3年4月20日(火)	2名出席				
	第2回	令和3年5月18日(火)	2名出席				
	第3回	令和3年6月15日(火)	2名出席				
	第4回	令和3年7月20日(火)	2名出席				
	第5回	令和3年9月21日(火)	1名出席				
	第6回	令和4年2月15日(火)	1名出席				
	第7回 令和3年3月22日(火) 1名出席						
各種	重会議等への生	- 活支援コーディネーター等の出席	· 转				
	スマホ教室 運営支援 令和3年10月22日(金)、11月16日(火)						
本会	本会の実施事業を通じた体制整備や調査研究等						
	(1) ふれあい茶論 (2) 社会福祉法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」 (3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決に向けた取組 (4) 福祉車両貸出事業 (5) 高齢者向け配食サービス"おまち堂" (6) 福祉有償運送事業の研究と実施に向けた体制づくりの検討協議						
L ENG	FNC 2 to AFEW 1 CO. Little Fit						

	1
ネットワーク会議への生活支援	
ネット・ノーン 一部八八十五女佐	1

コーディネーターの出席

「断らない相談」との一体的実施

実績なし

(2) 生活困窮者自立促進支援事業の推進

ア静岡県生活困窮者自立相談支援事業の実施【静岡県受託事業】

ア) 事業概要

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立の促進を図った。

イ) 事業運営方式

ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムの構成法人による連携協働

ウ) 構成法人

- ・本会を含む県内12町社会福祉協議会
- ・特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡
- ·静岡県社会福祉協議会(代表法人)

工)業務内容

生活支援・相談センターを設置するとともに、相談支援員(2名)を配置し、総合相談受付、緊急対応、他機関へのつなぎ、アセスメント、プラン作成、モニタリング、評価、支援調整会議、関係機関との調整、支援者開発、ニーズ掘り起し等の業務を行った。

オ) 小山町支援調整会議の開催

【構成機関等】静岡県社会福祉協議会、静岡県東部健康福祉センター、小山町 小山町教育委員会、沼津職業安定所御殿場出張所 NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡、小山町社会福祉協議会 他

小厂	小山町支援調整会議の開催状況					
	第1回	令和3年5月14日(金) 7機関·17名 出席				
	第2回	令和3年7月2日(金)	8機関·16名 出席			
	第3回	令和3年8月13日(金) オンライン開催	8機関·17名 出席			
	第4回	令和3年10月1日(金) オンライン開催	10機関·15名 出席			
	第5回	令和3年11月5日(金)	10機関·18名 出席			
	第6回	令和3年12月6日(月)オンライン開催	7機関·15名 出席			
	第7回	令和4年2月4日(金)オンライン開催	6機関·12名 出席			
	第8回	令和4年3月18日(金)	6機関·17名 出席			

カ) 生活困窮者自立支援制度に関する支援実績

【自立相談支援事業】

新規相談受付件数(総数)			
プラン作成件数(総数)			
就労支援対象者数			21
		住宅確保給付金	9
		一時生活支援事業	1
		家計相談支援事業	18
法に基づく事業等利用 	计数	就労準備支援事業	0
		就労訓練事業	0
		自立相談支援事業による就労支援	14
一般就労者数(プラン作成者分)			
増収者数一般就労者数(プラン作成者分)			4
具体的な支援内容	・ハローワークや就職面接及び各種申請手続への同行・収支状況の把握 他		

【生活再建支援事業】

新規相談受付件数(総数)			
プラン作成件数(総数)			
相談延回数			
具体的な支援内容	・収支の見える化 ・滞納返済のための同行支援や交渉同席 ・生活保護申請面談の同席 ・生活福祉資金等へのつなぎ ・金融機関への同行 他		

【一時生活支援事業】

宿泊日数	0
プラン作成件数(総数)	1
被服の提供	0
地域居住支援事業利用者数	0

イ ふじのくに型学びの心育成支援事業の実施 【静岡県受託事業】

ア) 事業概要

【子どもの学習支援・生活支援事業】

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、学習支援を行い、生活困窮世帯の子どもの高等学校への進学を促進することにより、就職率を向上し、生活困窮世帯等の子どもの自立促進を図った。さらに、高校生世代を対象とした多様な進路の選択に向けた助言や情報提供を行うことにより、若年層における就労意欲の向上を図った。

イ) 実施日数

	区分			
夏季	【集合型支援】 令和3年7月26日(月)~8月4日(水)	8日		
冬季	【集合型支援】 令和3年12月25日(土)~27日(月)	3日	16日	
通年	【学習教材郵送による支援】 令和3年8月20日(金)、9月21日(火) 10月20日(水)、11月19日(金) 12月23日(木)	5日		

ウ) 学習支援教室(おやま学習アシスト教室)の設置場所 小山町健康福祉会館

- エ) 児童・生徒の無料送迎サービス(希望世帯のみ) 本会業務用車両による
- 才)教育支援員登録者数 8名(男性4名·女性4名)

力) 利用実績

		参加延人数(名)						
	実人数 (名)	= ⊥	集合	教材郵送				
	(1)	計	夏季	冬季	通年			
小学生	12	117	50	17	50			
中学生	2	15	5	0	10			
計	14	132	55	17	60			

ウ 生活困窮世帯向け緊急食糧支援事業の連携実施

ア) フードドライブの連携実施

まだ安全に食べられるにもかかわらず処分されてしまう食料を、企業や個人から 寄贈を受け、生活困窮者等、支援を必要としている人に適切に配るフードバンク事 業やフードドライブ事業を地域の仕組みとして確立させ、相互扶助の社会づくりを めざすことを目的として、NPO法人フードバンクふじのくに等と本会が事業連携し 実施した。

事 業 名	生	生活困窮世帯向けフードバンク事業					
夏季		令和3年8月2日(月)~31日(火)					
受付期間	%	季	令和4年1月4日(火)	~	31日(月)		
☆₩□ 조目	夏季		本会 513.3kg (県内 14t)		年間	本会 608kg	
寄贈品重量		季	本会 94.7kg (県内 20t)	: 94.7kg 総重		(県内 20t)	
	延	14世	 帯・29名分				
		_			<u> </u>	第 延8世帯·15名分	
活用実績		フードバンクふじのくに		=	ロナ対策	策 延5世帯・9名分	
		御殿場・小山フードバンク協		諺	会	延90世帯 (世帯人数不詳)	
		本会	独自支援事業(備蓄品	活	用)	延6世帯·14名分	

イ)「小山町みんなの食堂」お弁当配布事業の連携実施

生活困窮世帯等の子どもを主な対象とした食事の無償提供を通じて、関係団体との新たなネットワークの構築と、生活ニーズの把握、きめの細かな支援につなぐことができた。

[連携団体] 御殿場・小山フードバンク協議会 他

[協力内容] 問合せ先窓口 他

[開催実績]

	期 日	令和3年8月7日(土)			
午1日	配布会場	小山町健康福祉会館			
第1回	配布数	47食			
	その他	夏休み自由研究特別企画(SDGs)を同日開催			
	期 日	令和3年8月14日(土)			
450回	配布会場	リーテンリュカ(小山町用沢)			
第2回	配布数	43食			
	その他	夏休み自由研究特別企画(SDGs)を同日開催			
	期 日	令和4年1月8日(土)			
450回	配布会場	小山町健康福祉会館			
第3回	配布数	50食			
	その他	特記事項なし			

(3) 資金貸付による経済的自立及び生活意欲の助長

ア 小山町生活福祉資金貸付事業の実施

本会貸付要綱に基づき、低所得世帯に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と安定した生活のための支援を行った。

「資金種類別の新規貸付実績】

計	4件	40,000円	前年度比 増減なし
日常生活費	4	40,000円	前年度比 増減なし
就学費	0	0円	前年度比 増減なし
家屋補修費	0	0円	前年度比 増減なし

イ 静岡県生活福祉資金貸付事業の実施 【静岡県社会福祉協議会受託事業】

静岡県社会福祉協議会から事務の一部を受託し、低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図った。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少に伴う個人向けの「緊急小口資金等特例貸付」及び「総合支援資金特例貸付」を令和2年3月25日から引き続き 実施した。(国の方針により、令和4年8月31日まで再延長となった。)

ア) 受託事務の内容

- ·資金貸付の広報業務
- ・借入申込者に対する支援業務
- ・借受人に対する支援業務
- ・関係機関との連携・連絡・調整等業務
- ・資金貸付及び償還に関する書類の交付、受付・検討、県社協への送付業務
- ・償還に関する協力業務
- ・借入申込者及び借受人の属する世帯の調査に関する業務 他

イ) 資金種類別の新規貸付実績

		計		27件	9,900,000円	前年度比 20件減
総	合支援	資金		12	6,900,000円	前年度比 1件増
	うちゃ	持例貸付	付(新規)	8	4,650,000円	前年度比 3件減
	うち	//	(再貸付)	4	2,250,000円	前年度比 4件増
福	祉資金			0	0円	前年度比 増減なし
緊	急小口	資金		15	3,000,000円	前年度比 21件減
	うち	特例貸	付分	15	3,000,000円	前年度比 21件減
教育支援資金		0	0円	前年度比 増減なし		
不動産担保型生活資金			活資金	0	0円	前年度比 増減なし

ウ 静岡県生活福祉資金貸付事業専任相談員の配置 【静岡県社会福祉協議会受託事業】

生活福祉資金貸付事務の迅速化と、きめ細かな援助指導を行うために、静岡県社会福祉協議会から助成を受けて相談員(2名/兼務)を配置した。

相談受付件数	延59件	前年度比 23件減
--------	------	-----------

(4) 権利擁護体制づくりの推進

ア 日常生活自立支援事業の実施 【静岡県社会福祉協議会受託事業】

日常生活に不安のある高齢者や20歳以上の障害者(知的障害・精神障害)などの町民を対象とし、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、サービスの選択や契約を支援した。また、料金の支払い、日常の金銭管理などできるだけ不安の少ない生活を送れるよう援助に努めた。

ア) サービス内容

・福祉サービスの利用援助

(利用手続きの援助、通知確認などの援助、利用料の支払いなど)

·日常的金銭管理

(年金や手当の受領確認、生活費に要する預貯金の払戻しなど)

・書類等の預かりサービス

(普通預金通帳、定期預金通帳、保険証書、印鑑登録証、マイナンバーカード、実印等)

イ) 業務内容

- ・相談受付業務に関する事項
- ・利用契約締結の判断に関する事項
- ・利用契約締結(契約書一式の作成を含む)に関する事項
- ・支援計画に基づく援助に関する事項 他
- ・その他受託業務の遂行に必要な事項

ウ)実施体制

- · 専門員 2名(兼務)
- ·生活支援員 6名(専門研修修了者)
- 工)相談等受理件数

計570件(前年度比 12件増)

問い	\合わせ件数	1件	前年度比 1件増
	認知症高齢者等	0	
	知的障害者等	0	
	精神障害者等	0	
	その他	1	
初回	回相談件数	8	前年度比 1件減
	認知症高齢者等	3	
	知的障害者等	0	
	精神障害者等	1	
	その他	4	
相談	炎援助件数	561	前年度比 12件増
	認知症高齢者等	150	
	知的障害者等	0	
	精神障害者等	221	
	その他	190	

オ) 利用実績

実利	刊用者数	6名	前年度比 1名增
	うち 書類預かりサービス実利用者数	6名	前年度比 1名增
	うち 新規契約利用者数	2名	_
	うち 契約終了利用者数	2名	_
日常	常的金銭管理サービス利用件数	延100件	前年度比 20件減

カ)契約締結審査会への出席

実績なし

イ 小山町権利擁護支援センター事業の実施【小山町受託事業】

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が不十分であっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、財産や権利を擁護する体制をつくり、成年後見制度の総合的な推進を図った。

ア)業務内容

- ・成年後見制度に関する相談対応
- ・成年後見制度に関する普及啓発
- ・市民後見人養成等に関する業務
- ・市民後見人活動支援に関する業務
- ・関係機関との連携及び調整 他

イ) 業務実績

		項目	件数等	
権利	川擁護及び成	40件		
成年	F後見制度利	用支援	115件	
権和	川擁護及び成	年後見制度に関する広報及び啓発		
	おやま権利 第5号; f 第6号; f 第7号; f 第8号; f 第9号; f	発行部数 6,700部 6,700部 6,700部 6,700部 6,700部		
成年	F後見事業運	営委員会の開催		
		6和3年7月7日(水) 6和3年12月9日(木)	10名 10名	
市国	民後見人候補	2名		
家庭	医裁判所への	1名		
市国	民後見人への	10		
地域	域連携ネット「	0回		
市国	R後見人養成	講座フォローアップ研修の開催		
	第1回	[期日]令和3年11月2日(火) [会場]小山町健康福祉会館及びZoom対応 [内容]財産管理のための基礎知識 [講師]西川浩之氏(司法書士)	20名 (うち 研修生7名)	
	[期日]令和3年11月30日(火) [会場]小山町健康福祉会館及びZoom対応 [内容]後見活動のための精神医学 19名 第2回 実地研修活動報告 (うち 研修生6名 [講師]佐久間哲也氏(精神科医/エムオーエー 奥熱海クリニック院長) [報告]藤曲喜雄氏(実地研修受講生)			
成年	F後見制度利	2回·延5名		
静區	^別 県成年後見	制度利用促進協議会(WEB開催)への出席	1回·延1名	
権利	川擁護支援セ	ンター職員対象の研修会への参加	14回·延21名	

ウ 法人後見事業の実施

静岡家庭裁判所の選任を受け、認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思 決定が困難な人に対して、本会が成年後見人、保佐人、または補助人となり、本人の判断能 力を補い、安心して日常生活を送ることができるよう支援した。

ア) 業務内容

- ・法人後見の受任
- ・法人後見支援員の登録及び活動支援 他

イ) 受任件数

		= ⊥	類型内訳		
		計	後見類型	補佐類型	補助類型
受信	壬件数	2件	2件	0件	0件
	前年度から継続	0	0	0	0
	新規受任	1	1	0	0
	受任終了	1	1	0	0

(1) 高齢者等への支援活動の推進

ア ふれあい茶論の開催(介護予防普及啓発事業)【小山町受託事業】

高齢者の介護予防と仲間づくり及び社会参加等をねらいとして開催した。

ア) 開催実績

開催規模等を考慮し一部地域で開催 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

[開催回数] 16回(計画回数 70回)(前年度比 6回増)

[運営協力者] ふれあい茶論運営協力委員 16団体・133名

[参加者] 延453名(うち 65歳未満の運営協力委員 8名) (前年度比 175名増)

[協力者] 民生委員児童委員、単位シニアクラブ役員、ボランティア他

[月別実績]

月別	回数	参加者数	月別	回数	参加者数
4月	0	0(0)	10月	2	49(0)
5	0	0(0)	11	1	31(0)
6	0	0(0)	12	9	269(3)
7	0	0(0)	1	4	104(5)
8	0	0(0)	2	0	0(0)
9	0	0(0)	3	0	0(0)

参加者数欄()内の数値・・・65歳未満の運営協力委員数

イ) ふれあい茶論運営協力委員連絡会の開催



		第1回	第2回
期	日	令和3年6月8日(火)	令和4年3月15日(火)
出席	者数	25名(うち 運営委員23名)	21名(うち 運営委員19名)

イ 宅老所「ひだまり」の運営



独居高齢者等の引きこもり予防や社会参加をねらいとして宅老所を実施した。

ア) 実施場所

小山町健康福祉会館1階·調理実習室他

イ) 利用対象

小山中学校区在住の虚弱高齢者

ウ) 実施内容

茶のみ、世間話、昼食づくりなど

工) 運営体制

[運営協力者数] 3名

オ) 利用実績

利用登録者数	10名	前年度比 増減なし
開催日数	8日(うち 訪問対応 1日)	前年度比 6日増
延利用者数	72名(うち 訪問対応 10名)	前年度比 52名増

ウ 緊急通報体制整備事業の実施【小山町受託事業】

独居高齢者等による緊急時通報のための機器を設置することにより、安心安全な在宅生活 の支援を行った。

ア) 設置機種

シルバーホンあんしんS(NTT社製)

イ) 対応業務

- 事業の広報業務
- ・設置申込者に対する支援業務
- ・設置工事業者との工事日の調整業務
- ・設置時の立会に関する業務
- ・設置利用者に対する使用方法の説明業務
- ・消防本部や通報協力者との連絡調整等業務
- ・NTTに対する使用料支払いに関する業務
- ・長期入院や施設入所、死亡等による撤去時の立会に関する業務
- ・その他必要と認められる業務

ウ) 利用実績

実	刊用者数 利用者数	49名	前年度比	1名増
	うち 新規利用者数	5名	前年度比	4名增
	うち 撤去利用者数	7名	前年度比	1名増
延	 利用件数	513名	前年度比	38名減

(2) サービスの提供力を高める

ア 住民参加型福祉サービス"オンリー・ユー♪"の実施

既存の社会保障や福祉制度では十分な対応ができない町民を対象とした有償の「住民参 加型福祉サービス"オンリー・ユー♪"」を町内全地区で実施した。サービス運営体制や人材 発掘等についての細部調整や広報活動をあわせて展開した。

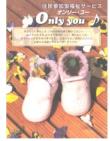
規模の大幅縮小(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

ア) 事業内容

- ・広報紙やホームページ及び地元マスメディアを活用した広報活動の展開
- ・地域福祉活動情報紙等への掲載
- ・ホームページによる情報提供
- ・案内リーフレットの発行・配布
- ・ふれあい茶論や各種会議等における周知
- イ) 登録会員数(令和4年3月31日現在) 利用会員 36名(男性10名·女性26名) 協力会員 18名(男性 4名·女性14名)

ウ) 利用実績

延利用回数	48回	前年度比 28回増
延利用時間数	12時間45分	前年度比 12時間45分



イ 高齢者向け配食サービス"おまち堂"の実施(在宅高齢者食の自立支援事業)

【小山町受託事業】

在宅高齢者に対して、栄養改善と見守りを兼ねた配食の提供により介護状態への進行の 防止を図り、高齢者が地域において自立した日常生活を営めるよう支援するため、高齢者 向け配食サービスを実施した。

ア) 事業内容

- ・高齢者の身体状況に応じたカロリーや食材の大きさや硬さに配慮した食事の調製
- ・利用者宅における直接手渡し方式による食事の配達
- ・配達時における利用者の健康状態や生活状況の確認及び異常時における連絡
- ・配達・見守りボランティアの意識向上と支援技術の習得を図るための研修会開催
- ・生活支援コーディネーターと連携した担い手の発掘 他



イ) 事業の実施主体等

[事業実施主体] 高齢者向け配食サービス"おまち堂"コンソーシアム [コンソーシアム構成員] 社会福祉法人小山町社会福祉協議会(代表法人) 社会福祉法人寿康会

ウ) 登録状況

[利用登録者数] 10名(男性2名·女性8名) [ボランティア申出者数] 8名(男性 2名・女性 6名)

エ) サービス提供実績

実利用者数	11名	前年度比 1名増
延利用件数	1,366件	前年度比 57名減



(3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決の推進

社会福祉法人・医療法人・財団法人・NPO法人・営利法人が運営する社会福祉施設や 介護サービス事業所の連携・強化を図り、各法人のノウハウを生かして制度の狭間にあ る地域課題の解決に向けた取り組みをすすめた。

ア おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議 構成法人(全17法人)



- ・社会福祉法人 ミルトス会(駿東学園)
- ・社会福祉法人 寿康会(徳風園・平成の杜)
- ・社会福祉法人 婦人の園(インマヌエル)
- ·社会福祉法人 小山町社会福祉協議会(小山町社会福祉協議会)
- ·公益社団法人 有隣厚生会(富士小山病院)
- ・医療法人社団 静寿会(おやまの杜)
- ・社会医療法人 青虎会(菜の花の丘)
- ・医療法人社団 沙羅(東富士病院)
- ・特定非営利活動法人 ワーカーズコープ(わかば)
- ・特定非営利活動法人 おでかけクラブ(大人の笑楽校)
- ・一般社団法人 心和(はあとデイサービスセンター)
- ・株式会社 スルガケアサービス(アンビックおやま)
- ・株式会社 エス・ゴーニー(ふるさと倶楽部)
- ・有限会社 アイティ介護サービス(アイティ介護サービス)
- 株式会社 グランドスラム(とう菜の里)
- ・株式会社 河村福祉サービス(静岡営業所)
- ・株式会社 縁(訪問看護ステーション大きな木)

ア) ハラスメント防止・対応研修会の開催 🖊



[期日] 令和3年11月26日(金)

[会場] 小山町健康福祉会館

[内容] ハラスメントの基礎知識や具体例等

「出席者数] 22名(4社会福祉法人)

うち オンライン参加 8名



イ 施設経営法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」の実施



店舗空白地域である『県境エリア』における買い物弱者対策として、社会福祉法人が運 営する「移動販売事業」と連携した地域支援に引き続き取り組んだ。

今後もこの事業を定期的に実施することで、"買い物"という日常生活行為に潜むリハビ リの必要性を見出す契機とすることができる。

[連携法人]

社会福祉法人富岳会(就労継続支援A型事業 セルプ・アムール 他)

[実施エリア(開設場所)]

- ·小山3区(正福寺駐車場)
- ・小山4区(第1コミュニティ広場)
- ·生土区(個人宅敷地内)
- ·湯船区(湯船公民館駐車場)
- ·柳島区(柳島公民館駐車場)

[取組内容]

【富岳会】・移動販売車(3トン車)による巡回販売

【本 会】・巡回販売当日における運営支援

・実施エリア内の住民に対する周知(回覧用チラシ作成・配布等) 他

[開催実績]

区名	巡回会場名	実	施回数
小山3区	正福寺駐車場	12回	
小山4区	第1コミュニティ広場	12	
生土区	小野様宅駐車場	12	延60回
湯船区	湯船公民館	12	
柳島区	柳島公民館	12	

「利用実績」

	来	場者数	売	上金額	
区名	延人数	1回あたり の平均人数	総額	1日あたりの金額	
小山3区	60名	5.0名			
小山4区	56	4.7			
生土区	66	5.5	437,095円	36,425円	
湯船区	29	2.4	437,09313	30,42311	
柳島区	99	8.3			
計	310	25.8			

(4) 社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」の推進

ア 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への登録及び活動の連携

大規模災害時に避難所などで福祉的配慮が必要な人を発見し支援する静岡DWATに本会職員を登録し、被災地における活動を支援します。静岡DWATは、社会福祉士等の有資格者で、研修修了者の中から1チーム約5名で編成される福祉専門職チームである。災害発生後、被災した県内外の市町村から静岡県に派遣要請があると、ネットワーク事務局(静岡県社協)がチームを編成して被災地へ派遣される。隊員は災害発生5日後から1か月後までの間において、指定の避難所や福祉避難所で支援活動を行うものである。

[被災地での主な活動内容]

福祉的トリアージ、環境整備、移送支援、医療支援チーム等との連携 他[登録者数]

1名(令和4年3月現在)

イ 運転免許自主返納者等サポート事業への加盟・協力

[事業主体] 静岡県警察本部

[対 象] 運転免許自主返納者等で運転経歴証明書を提示した者

[内 容] 本会が運営する「カフェ・ポム」及び「町民食堂ごちそうさん」の共通利用券 (1名あたり年間1,000円分)を一括で贈呈

[贈呈件数] 0件

ウ 福祉車両貸出事業及び福祉車両取扱講習の実施

介護保険対象外サービスの一環として、福祉車両を短期で貸し出すことにより、虚弱 高齢者や疾病による在宅生活を送る人たちの安心・安全な環境づくりの支援を行った。 なお、当該事業の実施にあたっては、居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターと の連携に努めた。

[利用実績等]

貸出車両保有台数	軽自動車 1台	
延利用件数	1件	前年度比 増減なし

エ 車椅子短期無料レンタルサービスの実施

介護保険対象外サービスの一環として、車椅子を短期で貸し出すことにより、虚弱高齢者や疾病等による在宅生活を送る人たちの安心・安全な環境づくりのための支援を行った。なお、当該事業の実施にあたっては、居宅介護支援事業所及び小山町地域包括支援センター平成の杜との連携強化に努めた。

[利用実績等]

貸出車椅子保有台数	標準タイプ 8台	
延利用件数	101件	前年度比 43件增

オ 福祉おたすけグッズ(地域福祉活動用資機材)貸出事業の実施

高齢者・障害者・子ども等を対象とした交流活動、地域の行事(祭事や体育大会等)、学校における福祉体験等、幅広い地域福祉活動を応援するために各種レクリェーション用品等の無料貸出しを行った。

[利用実績等]

保有台数	22種類・59台	ポップコーン機、綿菓子機 他
延利用件数	6件	前年度比 6件增

カ障害者週間啓発事業の共同開催

御殿場・小山障害者自立支援協議会主催の障害者週間啓発事業に対し、事業費の一部 を負担するなど、啓発を図った。

[事業名] 障害者週間講演会

[期間] 令和3年12月3日(金)~9日(木)

[開催方法] YouTube配信

[講演テーマ] 障害者の防災を考える~自分は何ができるか、地域は何ができるか~ 「講解】 A 解除习ば(かね見其合理事)

[講師] 八幡隆司氏(ゆめ風基金理事)

[視聴回数] 第1部(事業所向け) 106回再生第2部(市民向け) 195回再生

- 20 -

(5) 法人組織の基盤を強める

ア 法人経営に関する各種会議

ア) 理事会の開催

「執行機関」として、法人経営に関する意思を明確にすると共に、経営上の必要事項等を定め、各種事業に関する協議により法人の方向性を定めるなど、法人経営や事業展開に努めた。

第1回定例理事会 【総数14名中10名出席/出席率71%】

[期日] 令和3年5月10日(月)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第1号報告 会長及び常務理事の職務執行状況

第2号報告 令和2年度一般会計資金収支補正予算(第4号)専決処分の報告

第1号議案 就労支援事業工賃変動積立金管理規程の制定

第2号議案 評議員選任規程の変更

第3号議案 役員規程の変更

第2回定例理事会【総数14名中11名出席/出席率79%】

[期日] 令和3年6月2日(水)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第3号報告 会長及び常務理事の職務執行状況

第4号報告 令和3年度決算監查結果報告

第4号議案 令和2年度事業報告書案の承認

第5号議案 令和2年度一般会計収支決算報告書案の承認

第6号議案 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第1号)の承認

第7号議案 評議員選任候補者の推薦

第8号議案 理事選任候補者の推薦

第9号議案 監事選任候補者の推薦

第10号議案 令和3年度定時(第1回)評議員会の招集

第11号議案 訪問介護事業所(指定訪問介護)運営規程の変更

第12号議案 訪問介護事業所(訪問介護相当サービス)運営規程の

変更

第13号議案 訪問介護事業所(介護予防・日常生活支援総合事業に

おける指定基準型訪問介護サービス事業)運営規程 の変更

第3回臨時理事会 【総数15名中12名出席/出席率80%】

[期日] 令和3年6月21日(月)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第5号報告 第10回評議員選任・解任委員会の開催結果

第14号議案 会長の選任

第15号議案 副会長の選任

第16号議案 常務理事の選任

第17号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任

第4回定例理事会 【総数15名中13名出席/出席率87%】

[期日] 令和3年9月17日(金)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第6号報告 会長及び常務理事の職務執行状況

第7号報告 平成29年度定時(第1回)評議員会における「議第4号・ 定款の変更」案件の不成立に関する報告

第18号議案 評議員選任規程の変更

第19号議案 就業規程の変更

第20号議案 定年退職者の再雇用に関する規程の変更

第21号議案 事務権限規程の変更

第22号議案 育児・介護休業等に関する規程の変更

第5回臨時理事会 【総数15名中14名出席/出席率93%】

[期日] 令和3年10月26日(火)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第23号議案 経理規程の変更

第24号議案 ワークホーム・アップル経営改善計画案の承認 第8号報告 障害福祉サービス事業者等(居宅介護)実地指導の

受検結果

第9号報告 社会福祉法人指導監査の受検結果 第10号報告 令和3年度定期監査の受検結果

第6回定例理事会 【総数15名中14名出席/出席率93%】

[期日] 令和3年12月1日(水)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題]第24号議案 ワークホーム・アップル経営改善計画案の承認

第25号議案 ワークホーム・アップル施設長等の任免

第26号議案 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第2号)の承認

第27号議案 定款の変更

第28号議案 経理規程の変更 第29号議案 令和3年度臨時(第2回)評議員会の招集

第11号報告 会長及び常務理事の職務執行状況

第7回定例理事会 【総数15名中15名出席/出席率100%】

[期日] 令和4年3月4日(金)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題]第30号議案 自動車運行管理規程の変更 第31号議案 ワークホーム・アップル運営規程の変更 第32号議案 令和3年度臨時(第3回)評議員会の招集

第12号報告 会長及び常務理事の職務執行状況

第8回定例理事会 【総数15名中12名出席/出席率80%】

[期日] 令和4年3月24日(木)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題]第33号議案 事務局組織規程の変更

第34号議案 職員給与規程の変更

第35号議案 経理規程の変更

第36号議案 令和3年度一般会計資金収支補正予算(第3号)の承認

第37号議案 令和4年度役員等賠償責任保険契約の承認

第38号議案 令和4年度事業計画案の承認

第39号議案 令和4年度一般会計資金収支予算案の承認

【理事会出席率】 平均出席率 85%(前年度比 6ポイント減)

第1回	第2回	第3回	第4回
71%	79%	80%	87%
平日·昼間(午後)開催	平日·昼間(午後)開催	平日·昼間(午後)開催	平日·昼間(午後)開催
第5回	第6回	第7回	第8回
93%	93%	100%	80%
平日·昼間(午後)開催	平日·昼間(午前)開催	平日·夜間開催	平日·昼間(午前)開催

イ) 監事会の開催

会計業務及び理事の業務執行状況及び法人の財産の状況や事業等の監査に努 めた。

第1回監事会 【総数2名中2名出席】

[期日] 令和3年5月21日(金)

[会場] 小山町健康福祉会館

[種別] 決算監査

第2回監事会 【総数2名中2名出席】

[期日] 令和3年10月14日(木)

[会場] 小山町健康福祉会館

[種別] 定期監査

ウ)評議員会の開催

法人経営上の重要事項の議決機関として、理事・監事の選解任、事業計画・事業 報告及び予算(補正予算を含む)・決算の承認等の重要な案件を審議した。

第1回(定時)評議員会【総数21名中16名出席/出席率76%】

[期日] 令和3年6月21日(月)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第1号報告 令和2年度一般会計資金収支補正予算(第4号)の 専決処分の報告

第2号報告 令和3年度決算監査結果報告

第3号報告 第10回評議員選任・解任委員会の開催結果報告

第1号議案 令和2年度事業報告書案の承認

第2号議案 令和2年度一般会計資金収支決算報告書案の承認

第3号議案 令和3年度一般会計補正予算(第1号)の承認

第4号議案 理事の選任

第5号議案 監事の選任

第2回(臨時)評議員会【総数21名中17名出席/出席率81%】

[期日] 令和3年12月20日(月)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第6号議案 定款の変更

第7号議案 役員の報酬等に関する規程の変更

第8号議案 令和3年度一般会計収支補正予算(第2号)の承認

第4号報告 令和3年度定期監查受検結果

第5号報告 ワークホーム・アップル経営改善に向けた取組み

第3回(臨時)評議員会 【総数21名中15名出席/出席率71%】

[期日] 令和4年3月29日(火)

[会場] 小山町健康福祉会館

[議題] 第9号議案 令和3年度一般会計収支補正予算(第3号)の承認 第10号議案 令和4年度事業計画案の承認

第11号議案 令和4年度一般会計資金収支予算案の承認

【評議員会出席率】平均出席率 76%(前年度比 6ポイント減)

	第1回(定時)	第2回(臨時)	第3回(臨時)
111#	76%	81%	71%
出席率	月曜日·午前開催	月曜日·午前開催	火曜日·午前開催

工) 評議員選任・解任委員会の開催

	期日	出席者数
10	令和3年4月14日(水)	5名

オ) 部門責任者会議の開催

回	期日	出席者数
1	令和3年5月28日(金)	5名
2	令和3年7月29日(木)	6名
3	令和3年9月29日(水)	7名
4	令和3年10月15日(金)	7名
5	令和3年11月19日(金)	6名
6	令和3年12月17日(金)	6名
7	令和4年1月28日(金)	6名
8	令和4年3月3日(木)	7名

イ 公益通報者保護体制の整備

公益通報者保護法を踏まえ、本会が法令を遵守した経営への取り組みを強化していくために、本会役職員や関連事業者からの通報受理等を行う外部通報窓口を設置した。(本会役職員や委託業者等からの内部告発を受け付けるための窓口のことをいう。)

ア) 委託先

あかまつ司法書士事務所(所在地;沼津市下河原町3-9-10)

イ) 委託内容

本会職員や関連業者からの通報受理・調査実施等

ウ) 委託料等

通報受理及び調査実績に応じた委託料、調査に要した旅費交通費

工)通報受理

0件

ウ 苦情解決体制の整備

本会のサービス事業等についての要望や苦情に対して適切に対応することで、利用者のサービスに対する満足度を高めるとともに、利用者個人の権利を擁護しながら社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で、円滑で円満な問題の解決を図った。

ア) 苦情解決関係者の配置

苦情解決責任者(事務局長)、苦情受付担当者(3名)、第三者委員(2名)

イ)苦情申し立て等の受付対応実績

[苦情申立及び要望等の受付件数] 計1件 (第三者委員への報告必要件数 0件) [事業別内訳]

			内		容			
	離	サービスの質や量	利用料	説明·情報提供	被害·損失	権利侵害	その他	盐
居宅介護支援	0	0	0	0	0	0	1	1
訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0
就労継続支援B型	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	1	0

ウ) 苦情解決委員会の開催

[期日] 令和4年3月16日(水)

[会場] 小山町健康福祉会館

[出席者数] 6名

エ 第5次小山町地域福祉活動計画の進行管理

第4次小山町地域福祉計画(町行政)との合同による進行管理を行った。

ア) 計画実施期間

令和2~6年度(5か年)

イ) 小山町地域福祉活動計画及び小山町社会福祉協議会地域福祉活動計画推進 懇談会の開催

[期日] 令和4年2月1日(火)

[会場] 小山町健康福祉会館

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により書面開催

オ 役職員の資質向上

地域福祉の推進を担う役職員の資質向上を目指し、研修計画に基づいた研修事業 を実施した。また、広範囲になっていく福祉関連事業に対応していくために職員への 資格取得の機会を促し、専門職集団としての、より質の高い相談支援やサービス提 供に努めた。

ア) 職員内部研修会の開催

【第1回】 期日 令和3年4月12日(月)

人数 9名

【第2回】 期日 令和3年5月10日(月)

人数 9名

【第3回】 期日 令和3年5月31日(月)

人数 10名

【第4回】 期日 令和3年5月31日(月) ※ 訪問介護事業所

人数 8名

【第5回】 期日 令和3年6月7日(月)

人数 9名

【第6回】 期日 令和3年7月12日(月)

人数 8名

【第7回】 期日 令和3年7月20日(火)

人数 8名

【第8回】 期日 令和3年7月30日(金) ※訪問介護事業所

人数 6名

【第9回】 期日 令和3年8月23日(月)

人数 7名

【第10回】期日 令和3年9月13日(月)

人数 6名

【第11回】期日 令和3年9月21日(火)

人数 8名

【第12回】期日 令和3年9月30日(木) ※訪問介護事業所

人数 8名

【第13回】期日 令和3年10月18日(月)

人数 6名

【第14回】期日 令和3年11月15日(月)

人数 7名

【第15回】期日 令和3年11月30日(火) ※訪問介護事業所

人数 7名

【第16回】期日 令和3年12月20日(月)

人数 6名

【第17回】期日 令和4年1月31日(月) ※訪問介護事業所

人数 7名

【第18回】期日 令和4年3月31日(木) ※訪問介護事業所

人数 8名

イ) 全職員の福祉関係資格取得を目指した支援

個別面談や関係会議等の機会を通じて、支援に関する情報提供を行うとともに、休暇 取得等について配慮するなど、自己啓発や資格取得に対する意識の高揚を図った。

ウ) 職員を対象とした通信教育等受講料助成事業の実施

「職員の通信教育講座等研修受講に関する規程」に基づく助成事業の周知を図った。

助成申請受付件数	0件
助成決定件数	0

工) 静岡県社会福祉協議会等主催の外部研修会等への参加促進 他

【役員及び評議員】

- ·市町社協監事研修《WEB》(2名)
- ·安全運転管理者等法定講習(1名)

【法人本部·地域福祉推進事業部門】

- ・市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修・実施編(1名)
- ·市町社協総務担当者研修会(2名)
- ・市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修・広報ICT活用編≪WEB≫(1名)

【権利擁護支援センター】

- ·静岡県生活困窮者自立支援制度支援員養成研修·基礎編《WEB》(1名)
- ・実習指導者フォローアップ講習会《WEB》(1名)
- ・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修会≪WEB≫(1名)
- ・ひきこもり支援従事者研修(1名)
- ·包括的支援体制構築事業人材養成研修〈全4日間〉(1名)
- ·生活困窮者自立支援事業従事者養成選択研修《WEB》(1名)
- ・成年後見制度意思決定支援に係る実務研修・基礎編《WEB》(1名)
- ・第1回子どもの学習・生活支援事業セミナー《WEB》(2名)
- ・居住支援法人研修会第2回目《WEB》(2名)
- ·生活困窮者自立支援事業従事者養成選択研修《WEB》(2名)
- ·多重債務相談支援研修《WEB》(1名)
- ·日常生活自立支援事業現任生活支援員研修会《WEB》(1名)
- ・支援員を支えるネットワーク構築事業の支援事例発表会《WEB》(2名)
- ・駿東・田方地域リハビリテーション強化推進事業研修会《WEB》(1名)
- ・生活再建のための家計管理支援《WEB》(1名)
- ·日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ《WEB》(1名)
- ・外国人支援者を対象とした連携研修会≪WEB≫(2名)
- ・生活困窮者自立支援事業・法律セミナー《WEB》(2名)
- ·日常生活自立支援事業専門員研修会《WEB》(2名)
- ·成年後見制度利用促進広域研修《WEB》(2名)
- ・コミュニティソーシャルワーカー実践者養成研修《WEB》(1名)

【居宅介護支援事業所】

- ・静岡県介護予防ケアマネジメント新任者研修《WEB》(1名)
- ・静岡DWAT熱海市土砂災害派遣者ふりかえりの会≪WEB≫(1名)
- ·要介護認定調査員現任研修《WEB》(2名)
- ・介護予防ケアマネジメント現任研修《WEB》(2名)

【訪問介護事業所】

(該当なし)

【ワークホーム・アップル】

(該当なし)

カ 働き方改革の推進及び労務管理体制の推進

町民の生活課題や福祉ニーズに合わせ、新たな業務増が見込まれるなかで、適正な労務管理・人事管理体制の確立を図るとともに、「年次有給休暇の計画的付与制度(計画年休)」とあわせて、「副業・兼業促進制度」など本会独自の働き方改革を積極的に推進した。また、質の高いサービス提供、従業員のより良い職場環境の整備や今後の雇用管理改善を図った。

ア) 年次有給休暇取得状況(常勤職員のみ掲載) ※ 暦年で算出

年間付与日数	20日間(前期繰越分を除く)
平均取得日数	11.6日
平均取得率	58.0%

イ) 年次有給休暇取得状況の推移

	年間付与日数	平均取得日数	平均取得率
平成26年	20日	9.0日	45.0%
27年	20	6.5	32.5
28年	20	5.2	26.0
29年	20	5.3	26.5
30年	30年 20 9.4		47.0
令和 元年	20	15.8	79.0
2年	2年 20 13.3		66.5
3年	20	11.6	58.0

【参考データ】 <厚生労働省「令和2年就労条件総合調査の概要(令和元年度実績 データ)」より>

「年次有給休暇平均取得日数·取得率等]

区分	取得日数	取得率
全 産 業	10.1日	56.3%
福祉·医療	8.9	53.4
2025年(令和7年	70.0	

ウ) 副業・兼業促進制度の活用状況

₽	請件数	5件	【正規】2【再雇用】1【契約】2
	うち 許可件数	5	
主	な申請理由		能力等のスキルアップのため 个護人材の育成のため

エ) 駿東勤労者福祉サービスセンター(ベネフィ駿東)への加入等 [加入者数] 24名

[活用実績] (法人本部経由での申請・活用分のみ)

慶		2件
	会員の勤続(満20年)	1
	会員の珊瑚婚(35年)	1
各種	重あっせん事業	9

キ 「組織の健全化」及び「職員の健康意識向上」に向けた取組の推進

ア) 職員健康診断の実施

基本健診

[期 日] 令和3年8月4日(水)·5日(木) [対象者] 22名

[受 診 者] 22名(人間ドック等受診)

[受診率] 100%

[有所見者]13名

胃部レントゲン検査

[期 日] 令和3年12月22日(水)・23日(木)

[対象者] 19名

[受診者] 13名

[受診率] 68%

[有所見者] 5名

腰痛検査

日] 令和4年2月9日(水)

[対象者数] 8名(ホームヘルパー)

[受診者数] 8名

[受診率] 100.0%

[有所見者] 0名

イ) スマートフォン無料アプリを活用した健康管理

[アプリ名等] グッピーヘルスケア(㈱グッピーズ)

[導入年月日] 令和3年6月1日(火)

[導入形態] 全職員を対象に任意で活用

ウ) 「ふじのくに健康づくり推進事業所宣言」の認定

[認定区分] ホワイト事業所(1・2年目) [宣言内容] スマホ無料アプリで健康を見える化

[認定年月日] 令和3年9月29日

エ) その他

「グッドガバナンス認証の取得」及び「健康経営優良法人の認定」については、認 証・認定要件の取得に向けた体制整備に努めた。「産業保健活動の支援の活用」 については、「けんぽ」の制度活用を含め、調査研究を継続した。

ク 職員の安全運行管理体制の充実

ア) 全業務用車両へのドライブレコーダーの活用

車両保有台数	11台
設置済み台数	11台
主な活用方法	運転指導、事故調査協力等

イ) 職員の交通事故発生状況の把握

[対象事故] 職員の起因する人身交通事故

[報告件数] 0件

ウ) 御殿場地区安全運転管理協会への重大事故の報告

[重大事故の定義] 死亡事故、酒気帯び運転、無免許運転、薬物等運転ひき逃げ事故 [報告件数] 0件

工) 運転免許証等の所持状況の定期確認

運転免許証や身分証明書の所持状況や更新期限等について現物確認を行うこと により適正な携帯と毀損・紛失防止に努めた。

[対象者] 全職員(含非常勤契約職員)

[確認頻度] 四半期に1回(年4回以上実施/実施日は不定期)

[実施実績]

□	期間	対象者数	結果
第1回	令和3年6月7日(月)~30日(水)	24名	異常なし
第2回	令和3年9月7日(火)~30日(木)	22名	異常なし
第3回	令和3年12月8日(水)~24日(金)	22名	異常なし
第4回	令和4年3月8日(火)~22日(火)	25名	異常なし

ケ 職員の採用及び退職

年度内における職員の採用及び退職の状況については下記のとおりである。

ア) 職員の採用

【契約職員(非常勤)】

[職種] 日常生活自立支援事業生活支援員·法人後見事業後見支援員(非常勤) [採用人数] 4名(令和3年4月1日付)

【契約職員(常勤)】

[職種] 地域福祉プロデューサー・生活支援コーディネーター [採用人数] 1名(令和4年1月1日付)

イ) 職員の退職

【契約職員(常勤)】

[職種] 地域福祉プロデューサー・生活支援コーディネーター(常勤)

[退職者数] 2名(令和3年6月30日付・11月30日付)

[退職事由] 自己都合

【契約職員(非常勤)】

[職種] 職業指導員(非常勤)

[退職者数] 1名(令和4年3月31日付)

[退職事由] 自己都合

ウ) 職員数の推移

	正規職員						契	約職	員			再	雇用職	溳			
	事務局長	部門 部門	権利擁護支援センター	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	ワークホーム・アップル	部門 法人本部·地域福祉推進事業	権利擁護支援センター	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	ワークホーム・アップル	部門 部門	権利擁護支援センター	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	ワークホーム・アップル	合
年度初	1	2	1	2	1	2	2	9	0	7	3	0	1	0	0	1	32
年度末	1	2	1	2	1	2	1	9	0	7	3	0	1	0	0	1	31
増減	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1

コ 小山町行政や関連機関等との連携強化

本会における適正な法人経営及び時代の潮流に対応した先駆的事業展開に資する ことを目的として、小山町行政等との日常的な連携強化を図り、積極的な提言活動を 行った。

- ア) 小山町健康福祉会館指定管理連絡調整会議への出席
- イ) 小山町健康福祉会館消防訓練への参加

サ 静岡県社会福祉協議会との連携強化

本会における適正な法人経営及び先駆的事業展開に資することを目的として、日常的な連携強化を図り、積極的な提言活動を行った。

シ 感染症の蔓延や大規模災害発生時に備えた安定的・継続的な事業運営体制の構築 (3-4)

新型コロナウイルス感染症等や災害発生時において、必要なサービス提供や事業が安定的かつ継続的に実施できる体制を構築するために、下記の取組を継続して行った。

- ア) 日常的な感染症対策の強化(感染対策用品の備蓄、感染対策関係研修会の実施他)
- イ)法人全体及び事業所ごとにおける「事業継続計画(BCP)」の策定に着手した。(令和5年 度上半期に策定完了予定)

(6) 安定した自主財源の確保

ア 会員会費の拡充

住民に社会福祉協議会の活動等を広く理解してもらうとともに、効果的かつ先駆的な地域福祉活動を展開していくための基盤強化のため、本会関係者や区長会等の協力を得ながら、会員拡充と財源確保に努めた。(7月を会員増強月間とし運動を展開した。)

ア) 普通会員

- ・区長会を通じた世帯会員の募集・とりまとめ
- ・福祉施設や福祉活動団体に対する加入依頼

[加入実績]

世帯	5,615世帯	前年度比 39世帯増
社会福祉法人・福祉団体 及びボランティア団体	31団体	前年度比 5団体減

イ) 賛助会員

・役員等(役員及び事務局職員)による事業所等賛助会員加入依頼訪問活動 [期日] 令和3年7月6日(火)~15日(木) 計5日間 [加入依頼件数] 174件(うち 新規 4件) 「従事者数] 延25名

・個人賛助会員に対する郵送での個別協力依頼

「加入実績】

個 人	134名	前年度比 9名増
事業所等	144事業所·法人	前年度比 2事業所·法人 減

イ 共同募金運動への積極的協力と配分金の有効活用

社会福祉法人静岡県共同募金会(小山町共同募金委員会)及び区長会や民生委員 児童委員協議会と連携し、共同募金運動の促進を図るとともに、配分金の効果的な活 用に努めた。

赤い羽根共同募金運動(一般募金)	令和3年10月1日~12月31日
歳末たすけあい募金運動(歳末募金)	令和3年12月1日~31日

ウ リサイクル活動の展開

町民等から寄せられる下記物品の回収及び換金により自主財源の確保につなげた。 (就労支援事業におけるリサイクル事業を除く) [回収品目] プルタブ、使用済み切手、未使用切手、未使用官製ハガキ 他

4 指定介護保険事業の経営

(1) 居宅介護支援事業所の経営

利用者が住み慣れた居宅において、安心して生活できるように総合的に福祉サービスを調整して支援に努めた。

ア 事業所の名称

小山町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所

イ 従業者数(令和4年3月31日現在)

- ·管理者(兼介護支援専門員) 常勤 1名
- ·副管理者(兼介護支援専門員) 常勤 1名

ウ 業務内容

- ・毎月訪問、モニタリング、アセスメント
- ・サービス担当者会議の開催
- ・ケアプランの作成
- ・介護予防プランの作成(小山町地域包括支援センター「平成の杜」受託事業)
- ・ケア会議への出席
- ・要介護認定調査の受託実施(小山町、その他市町村等)
- ・介護サービス情報公表の対応
- ・事業の啓発活動の実施
- ·介護相談

工一● 介護度別居宅介護支援費提出実績(年間)

要介護1	335件	前年度比 131件減
要介護2	200	前年度比 25件増
要介護3	136	前年度比 43件増
要介護4	92	前年度比 9件増
要介護5	96	前年度比 37件増
計	859	前年度比 17件減

工一② 介護度別居宅介護支援費提出実績(月別)

			介護度別		性	別	Δ₹Ι	
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女	合計
4月	35	17	8	5	7	25	47	72
5月	31	17	13	5	10	27	49	76
6月	28	15	12	5	8	23	45	68
7月	26	16	13	7	7	22	47	69
8月	26	18	11	8	7	21	49	70
9月	27	16	11	9	8	22	49	71
10月	27	16	12	7	6	21	47	68
11月	28	17	14	7	7	23	50	73
12月	29	18	12	8	9	24	52	76
1月	27	17	11	10	8	23	50	73
2月	25	17	10	11	8	23	48	71
3月	26	16	9	10	11	24	48	72

オー 介護度別介護予防サービス計画提出実績(年間)【小山町地域包括支援センター受託事業】

事業対象者	1件	前年度比 1件増
要支援1	35	前年度比 9件減
要支援2	83	前年度比 5件増
計	119	前年度比 3件減

オー② 介護度別介護予防サービス計画提出実績(月別)

【小山町地域包括支援センター受託事業】

		介護度別		性	Δ ≡ ⊥	
	事業対象者	要支援1	要支援2	男	女	合計
4月	0	3	7	4	6	10
5月	0	3	7	4	6	10
6月	0	3	6	3	6	9
7月	0	3	7	3	7	10
8月	0	3	6	3	6	9
9月	0	3	7	3	7	10
10月	0	3	9	5	7	12
11月	0	3	8	4	7	11
12月	0	3	7	3	7	10
1月	0	3	7	3	7	10
2月	0	2	6	3	5	8
3月	1	3	6	3	7	10

カ 要介護認定調査の実施(年間)【小山町及びその他市区町村受託事業】

受託件数 62件(前年度比 40件増)

如学应用力	+57m++47*	件	数
都道府県名	市区町村名等	小計	合計
基4. [立] 目	小山町	54	55
静岡県	藤枝市	1	55
地大川旧	伊勢原市	1	2
神奈川県	横浜市保土ヶ谷区	1	۷
東京都	練馬区	1	1
埼玉県	上尾市	1	1
山梨県	富士河口湖町	1	1
福岡県	福岡市	1	1
大分県	国東市	1	1
· ·	計	62	62

(2) 訪問介護事業所の経営

居宅で生活する高齢者が要介護状態又は要支援状態であっても、食事・排泄・入浴の介護、 その他の日常生活にわたる援助を行うことにより、その利用者が可能な限りその居宅におい て、その有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう支援した。

ア 事業所の名称

小山町社会福祉協議会 訪問介護事業所

イ 従業者数(令和4年3月31日現在)

- ・管理者(兼 サービス提供責任者 兼 ホームヘルパー) 常勤1名
- ・ホームヘルパー 常勤1名・非常勤6名

ウ 実施事業

- ·訪問介護事業
- ・総合事業第1号 訪問介護相当サービス事業・訪問型サービスA事業

工 業務内容

- ・ケアプランに沿ったサービス提供
- ・サービス担当者会議への出席
- ・関係機関との連絡調整による利用者支援
- ・介護サービス情報公表の対応
- ・従事者の知識・技術向上によるサービスの質の確保(研修計画による)
- ・事業の啓発活動の実施

オー● 介護度別請求実績(年間)

	介 護 度 別							
	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護 4	要介護 5
延利用者数	18	54	62	76	71	39	11	15
Æ13/13 EXX		延346名 (前年度比 18名				i増)		
延利用件数				延4,36	51件	(前年度	比 165	件 増)

オー② 介護度別請求実績(月別)

	要介護度別									
	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	延利用者数	延利用件数
4月	4	4	7	6	4	2	0	1	28	386
5月	2	4	7	5	5	3	0	1	27	387
6月	1	4	6	4	4	4	0	1	24	374
7月	2	4	4	3	7	5	1	1	27	394
8月	2	4	4	6	7	4	1	1	29	370
9月	1	4	4	6	7	4	1	1	28	395
10月	1	4	5	6	7	4	1	1	29	406
11月	1	6	6	9	6	3	1	1	33	408
12月	1	5	4	9	6	3	2	2	32	329
1月	1	5	5	8	6	3	2	2	32	325
2月	1	5	5	6	6	2	1	1	27	233
3月	1	5	5	8	6	2	1	2	30	317

カ 訪問介護事業・サービス検討会の開催

第1回 [期 日] 令和3年5月31日(月)

[出席者数] 8名

第2回 [期 日] 令和3年7月30日(金)

[出席者数] 6名

第3回 [期 日] 令和3年9月30日(木)

[出席者数] 8名

第4回 [期 日] 令和3年11月30日(火)

[出席者数] 7名

第5回 [期 日] 令和4年1月31日(月)

[出席者数] 7名

第6回 [期 日] 令和4年3月31日(木)

[出席者数] 8名

5 指定障害福祉サービス事業の経営

(1) 居宅介護事業の経営

身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等対象者が在宅で安心して暮らすことができるよう入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言並びにその他の日常生活における援助を行った。なお、事業所名、従事者数、業務内容は、訪問介護事業と同様である。

実利用者数	4名	前年度比 1名増		
延訪問回数 205回		前年度比 83回 増		
延訪問時間数 203.5時間		前年度比 72.0時間増		

アー**②** サービス提供実績(月別)

	実利用者数	延訪問回数	延訪問時間数
4月	3名	17回	17.0時間
5月	3	13	13.0
6月	3	16	16.0
7月	4	17	17.0
8月	4	20	19.5
9月	4	16	15.0
10月	4	20	20.0
11月	4	21	21.0
12月	4	18	18.0
1月	4	13	13.0
2月	4	17	17.0
3月	4	17	17.0
計	_	205	203.5

(2) 就労継続支援B型事業の経営

障がいのある人に対し、就労や生産活動の機会を提供した。また、作業だけでなく、 職業習慣の確立、マナー、挨拶、身だしなみなどの訓練コミュニケーションの確立に 向けての支援を行った。なお、作業収入から必要経費を控除した額を工賃として利 用者に支給している。

ア 事業所の名称

ワークホーム・アップル(所在地;小山町菅沼253-1)

イ 従業者数(令和4年3月31日現在)

・施設長
 ・施設長代理(兼職業指導員)
 ・サービス管理責任者(兼職業指導員)
 ・生活支援員(兼職業指導員)
 ・職業指導員
 3名(非常勤)

ウ利用定員

12名

工 利用実人数

11名(前年度比 2名減)

内 訳 居住地別	ds da Et	104	男性	5名(含 新規契約1)	
	小山町	10名	女性	5名(含 契約終了1)	
	古住地別		1名	男性	1名
		御殿場市		女性	0名

オ 利用者数の動向

年度当初利用者数	11名	
新規契約利用者数	1名	
契約終了利用者数	1名	
年度末利用者数	11名	前年度比 2名減

力 事業内容

- ・自主事業(クッキー、ケーキ、縫製品等)
- ·受託事業
- ·自動販売機事業(小山町健康福祉会館2基)
- ・リサイクル事業
- ・喫茶事業(サテライト施設「カフェ・ポム」/小山町役場本庁1階)
- ・食堂事業(サテライト施設「町民食堂ごちそうさん」/小山町役場本庁地階)

キー① 利用実績(年間)

開所日数	228日	前年度比 10日減
延利用者数	2,237名	前年度比 161名減
平均利用率	89.75%	前年度比 1.09ポイント減
月額平均工賃	25,131円	前年度比 1,825円増

キー② 利用実績(月別)

月別	開所日数	延利用者数	利用率	訓練等給付費収入
4月	21日	200名	96.54%	1,523,419円
5月	18	185	88.00	1,407,482
6月	22	228	89.50	1,729,691
7月	20	204	93.70	1,576,559
8月	16	167	97.90	1,366,820
9月	18	188	98.90	1,440,808
10月	21	212	87.10	1,631,089
11月	20	204	97.00	1,576,384
12月	20	205	97.00	1,575,000
1月	17	158	84.00	1,226,331
2月	14	113	65.67	997,012
3月	21	173	81.70	1,311,174
計	228	2,237	_	_

ク【参考データ】令和2年度 静岡県内就労継続支援B型事業所 月額平均工賃実績

静岡県全体	15,529円	就労継続支援B型事業所数 計397事業所
ワークホーム・アップル	23,307円	第46位/全397事業所中

ケ 年間事業一覧(抜粋)

年月日	実施内容	場所	参加人数
03.05.28	保護者会(書面協議)	_	12
03.06.02	第1回防災訓練	アップル本体施設	10
03.07.02	永年利用者表彰式	アップル本体施設	14
03.09.02	第2回防災訓練	アップル本体施設	11
03.11.01	第3回防災訓練	アップル本体施設	12
03.11.15	食堂事業現地見学·喫食会2-①	町民食堂ごちそうさん	4
03.11.17	食堂事業現地見学·喫食会2-②	町民食堂ごちそうさん	8
03.12.28	保護者会	アップル本体施設	12
04.03.29	第4回防災訓練	アップル本体施設	11

コ 取引先事業所数

自主事業	6事業所		
受託事業	7事業所		
自動販売機事業	2事業所		
リサイクル事業	11事業所		

6 その他

(1) 行政関係機関による監査及び実地指導等の受検

静岡県等の行政関係機関による監査及び実地指導を受検し、助言指導等受検結果については、理事会の席上において報告するとともに、早急に改善するなどの措置を講じ、本会の経営改善や適正な事業展開に反映させた。

ア 障害福祉サービス事業者等実地指導の受検

[期 日] 令和3年8月10日(火)

[実施者] 静岡県(健康福祉部福祉指導課)

[受検結果] 改善指導事項 なし、助言事項 なし

イ 社会福祉法人指導監査の受検

[期 日] 令和3年8月17日(火)

[実施者] 静岡県(健康福祉部福祉指導課)

[受検結果] 文書指摘事項5件、口頭指摘事項4件、助言事項1件

(2) 各種表彰候補者推薦事務の実施

小山町内における地域福祉活動に功労のあった人を表彰し、その功を讃え、労をねぎらい、もって地域福祉の進展に資することを目的として各種表彰候補者の推薦を行った。

小山町社会福祉協議会会長表彰				
推薦件数	21名·2団体			
民生委員児童委員功労 社会福祉法人役員、社会福祉施設・事業所・従事者功労 社会福祉関係団体役員功労 社会福祉事業に対する金品寄附感謝状	2名 11名 2名 6名·2団体			
決定件数	21名·2団体			
推薦件数と同じ				
静岡県社会福祉協議会会長表彰				
推薦件数	9名			
社会福祉法人役員、社会福祉施設·事業所·従事者功労	9名			
決定件数	9名			
推薦件数と同じ				
全国社会福祉協議会会長表彰				
推薦件数	4名			
社会福祉法人役員、社会福祉施設従事者功労 社会福祉協議会従事者功労	3名 1名			
決定件数	3名			
社会福祉法人役員、社会福祉施設従事者功労 社会福祉協議会従事者功労	2名 1名			
静岡県知事表彰・褒賞				
推薦件数	2名			
社会福祉施設従事者功労 ホームヘルパー功労	1名 1名			
決定件数	2名			
推薦件数と同じ				

御殿場地区安全運転管理協会会長表彰					
	推薦件数		1名		
		優良安全運転管理者(会長単名表彰)	1名		
	決	定件数	1名		
		推薦件数と同じ			

(3) 各種研修会講師等としての役職員派遣の実施

県内外の関係団体が主催する研修事業の講師や事例提供者等として本会役職員を派遣し、ネットワークの拡充・強化を図った。

ア 南足柄市社会福祉協議会主催

[派遣役職員] 松田直樹(統括地域福祉プロデューサー)

[事業名] 災害研修会(テーマ;豪雨災害に備える)

「期日]令和3年7月2日(金)

[会場] りんどう会館(神奈川県南足柄市)

イ 西伊豆町社会福祉協議会主催

[派遣役職員] 関 智久(地域福祉プロデューサー)

[事業名] 西伊豆町生活支援ボランティア養成講座(テーマ;住民参加型福祉サービス "オンリー・ユー♪について")

[期 日] 令和3年12月12日(日)

[会場] 西伊豆町賀茂健康センター(賀茂郡西伊豆町)

(4) 関係機関・団体の委員等就任による提言活動

関係機関や団体の委員等就任による積極的な提言活動を行った。

ア 臼井 光昭(会長) (※ 令和3年6月21日まで 滝口 正)

小山町地域公共交通会議 委員

小山町要保護準要保護児童対策地域協議会 委員

社会を明るくする運動小山町推進委員会 委員

2020東京オリンピック・パラリンピック小山町開催支援協議会 委員

小山町地域福祉計画推進懇談会 構成員

小山町障害者計画等推進懇談会 構成員(副会長)

イ 原 秀人(常務理事/事務局長)

静岡県社会福祉協議会企画調査委員会 委員

静岡県社会福祉協議会地域における公益的な取組推進部会 委員

小山町介護保険等総合会議 委員

小山町地域包括支援センター運営委員会 委員

小山町福祉有償運送運営協議会 委員

小山町社会教育委員

小山町生涯学習推進委員会 委員

ウ 松田直樹(統括地域福祉プロデューサー/ワークホーム・アップル施設長)

静岡県下社会福祉協議会『移動支援サービス』運営に係るシステム研究会 構成員 静岡県市町社会福祉協議会連絡協議会総務部会 幹事

全国健康保険協会静岡支部健康保険委員

エ 芹澤真澄(権利擁護支援センター長)

小山町成年後見制度利用促進懇談会 委員

オ 関 智久(地域福祉プロデューサー)

小山町文化芸術振興基本計画検討会議 構成員

カ 五十井真琴(地域福祉プロデューサー)

御殿場・小山フードバンク協議会 構成員 小山町スポーツ振興審議会 委員

キ 遠藤千代子(ワークホーム・アップル 施設長代理)

静岡県立御殿場特別支援学校 学校運営協議会委員

ク 勝俣千春(ワークホーム・アップル サービス管理責任者)

小山町障害支援区分判定審査会 委員

社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」(再掲)

- ① 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への登録及び活動の連携
- ② 運転免許自主返納者等サポート事業への協力
- ③ 福祉車両貸出事業及び福祉車両取扱講習の実施
- ④ 車椅子短期無料貸出事業の実施
- ⑤ 福祉おたすけグッズ(地域福祉活動用資機材)貸出事業の実施
- ⑥ 福祉系大学や専門学校学生等実習生の受け入れ
- ⑦中学生職場体験学習の受け入れ
- ⑧ 生活困窮世帯等を対象とする緊急食糧支援事業の実施
- ⑨「小山町みんなの食堂」お弁当配布事業の連携実施
- ⑩ 法人後見事業の実施
- ① 宅老所「ひだまり」の運営
- ⑫ 住民参加型福祉サービス"オンリー・ユー♪"の実施
- ③ 高齢者向け配食サービス"おまち堂"の実施
- ⑭ 「おやま健康マイレージ事業」への協賛
- ⑤ おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議の開催
- ⑩ 施設経営法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」の実施





2023年12月 法人化40周年を迎えます!

